

九州産業大学

×

BIZCOLI

コラボセミナー

Behind the Magic Curtain

ビジネスのための

拡張現実(AR)テクノロジー

～学生を魅了する英語学習プロセスをビジネスに応用する可能性～

近年、スマートフォンの拡張現実(AR)テクノロジーは、ゲームやSNSコミュニケーションのみならず、教育やビジネスでの活用にも広まってきました。

この技術には、「情報を見聞きする」から「情報を体験したい」に変える力があり、何気ない情報によって体験行動が誘発される効果が確認されています。

九州産業大学では、このARテクノロジーを授業で活用した結果、「英語嫌いの学生が楽しみながら学習に取り組むようになった」「ペア学習が活発化し対話力の向上につながった」などの成果が得られました。さらにこの学習法は、昨年フィンランドで開催された学会でも高い評価を受けました。

本セミナーでは、教育の現場で得られたAR技術のユーザーへの興味喚起プロセスを通じ、ビジネスにおける応用の可能性を提示するとともに、具体的なビジネスシーンでの活用を想定したARコンテンツの開発を提示します。さらには、自由なディスカッションを通じて、スマホネイティブ第一世代である現役大学生のスマホ的思考・行動パターンについても情報共有していきます。

日 時：2019年6月14日(金)

18:30～19:30(受付開始 18:15)

場 所：BIZCOLI 交流ラウンジ(定員30名)

(福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館3F)

講 師：アダム・ストーン 氏

(九州産業大学語学教育研究センター 常勤講師)

サミュエル・テイラー 氏

(九州産業大学語学教育研究センター 常勤講師)

参加費：賛助・BIZCOLI 会員 無料、一般 1,000円

主 催：九州産業大学産業経営研究所

公益財団法人九州経済調査協会



講師紹介

Behind the Magic Curtain

ビジネスのための

拡張現実 (AR) テクノロジー

～学生を魅了する英語学習プロセスをビジネスに応用する可能性～



ニュージーランド出身。オークランド大学 ELAM 芸術学部卒業。同国、マッシー大学応用言語学修士課程修了。平成 29 年 4 月より九州産業大学語学教育研究センター常勤講師。専門分野は、拡張現実 (AR)、バーチャル・リアリティ (VR)、電子黒板など最先端の技術を英語授業へ応用することについて研究している。

ADAM STONE (アダム・ストーン 氏)

九州産業大学語学教育研究センター
常勤講師

イギリス出身。ロンドン大学人類学・コミュニケーション学部卒業。ロンドン大学院他言語話者に対する英語教授学修士課程修了。平成 29 年 4 月より九州産業大学語学教育研究センター常勤講師。専門分野は、拡張現実 (AR)、スピーキング、外国語学習における文化の影響、教育ゲームである。



SAMUEL TAYLOR (サミュエル・テイラー 氏)

九州産業大学語学教育研究センター
常勤講師

下記の項目を記入のうえ FAX (092-721-4908) または、ホームページ (<http://www.bizcoli.jp>) からお申込みください。(定員 30 名になり次第、締め切らせていただきます)

会社名・団体名	所属・役職
住所	電話番号
ふりがな お名前	E-mail

お問い合わせ先: (公財)九州経済調査協会 BIZCOLI 牟田・平田

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館 3階 電話: 092-721-4909 FAX: 092-721-4908

主催:九州産業大学産業経営研究所 (公財)九州経済調査協会